

Choeur Priere

クール・プリエール 第41回定期演奏会



SAITO Yukari (Conductor)

指揮: 齋藤友香理

ピアノ: 杉本直登

合唱: クール・プリエール

Program プログラム

- | | |
|---|--------------------------|
| Monteverdi: <i>Lagime d'amante al sepolcro dell'amata</i> | モンテヴェルディ「愛する女の墓に流す恋人の涙」 |
| Gesualdo: <i>Tenebrae Responsories for Holy Saturday (excerpts)</i> | ジェズアルド「聖週間のための応唱集」聖土曜日より |
| Britten: <i>Five Flower Songs, Op.47</i> | ブリテン「5つの花の歌」作品47 |
| Brahms: <i>Zigeunerlieder, Op.103</i> | ブラームス「ジプシーの歌」作品103 |

2025年7月27日(日) 浜離宮朝日ホール

1:30pm開場 2:00pm開演 入場料3,000円(全自由席)



ホームページ

《チケットお取扱い》チケットぴあ Pコード 296744 <https://pia.jp/>
《お問合せ》メール info@choeurpriere.com tel.03-3718-0408
《ホームページ》<https://www.choeurpriere.com>



チケットぴあ
販売ページ



齋藤 友香理 (指揮)

SAITO Yukari

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ピアノ科卒業後、同大学の科目履修生『指揮』に在籍し、黒岩英臣、高関健、梅田俊明の各氏に師事した。2009年からはローム ミュージック ファンデーションの指揮セミナーで小澤征爾、湯浅勇治、三ツ石潤司各氏の指導を受ける。その後小澤征爾氏により指揮研修生に選ばれ、特別レッスンを受講する。そして2010年9月にサイトウ・キネン・フェスティバル松本(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)で青少年のためのオペラ《ヘンゼルとグレーテル》を指揮し、オペラデビューを果たした。また同年からは一年間、公益財団法人 新日鉄住金文化財団「指揮研究員」として紀尾井ホール室内管弦楽団および東京フィルハーモニー交響楽団で研鑽を積む。2013年9月からはドイツのドレスデンに拠点を移し、ドレスデン音楽大学大学院指揮科に在籍、G.C.ザンドマン教授に師事し、修了。その間、ドレスデン音楽祭総監督であるヤン・フォークラーの推薦によりモーリッツブルグ音楽祭に招かれ、ハインリヒ・シフのアシスタント指揮者を務める。2015年、第54回ブザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞とオーケストラ賞を同時受賞。2016年にはリール国立管弦楽団を指揮し欧州デビューを果たす。また2017年には、ウィーンのトーンキュンストラ管弦楽団との公演において、ダニエル・オッテンザマーと共演。2018年5〜7月にはバイエルン州立歌劇場で上演されたワーグナー《パルジファル》で、音楽監督キリル・ペトレニコのアシスタントを務めた。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、九州交響楽団を指揮。黒岩英臣に師事していた2008-2009年当時、クール・プリエール定期演奏会での練習伴奏・練習指揮を担当。一昨年、クール・プリエールの常任指揮者に就任し、昨年の定期演奏会から指揮を担当。

『君はこうなると信じていたよ』

ブザンソンのコンクールでファイナルまでいったことを先生にお伝えしたとき、くださったこの言葉に涙を流してから約10年。今、私は、先生が大切になさってきたクール・プリエールの常任指揮者として、舞台に立ちます。指揮を学んだ最初の師匠である黒岩英臣先生から襷を頂き、伝統を大事にしつつ、クール・プリエールの皆さんと新たな音楽を探していく旅が始まることに、身が引き締まり、そして心が躍ります。ご来場の皆様とともに、私達の音楽が心に残るものになりますように。

齋藤 友香理

(昨年定期演奏会のメッセージ)



杉本 直登 (ピアノ)

SUGIMOTO Naoto

洗足学園音楽大学ピアノコースを首席で卒業。日本演奏家コンクール第1位ならびにグランプリ。KOBE国際音楽コンクール最優秀賞。ベートーヴェン音楽コンクール第1位ならびにグランプリ。さくらびあ新人コンクール、第1位。ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナリスト。2023年カントゥ国際ピアノコンクール(伊)第2位。ほか多くのコンクールで入賞する。ルーマニア国立バカウ・フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、ウラディミール・アシュケナーズ氏等と共演。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン等の音楽祭に出演。ソロの他合唱、声楽家との共演も積極的に行い、リサイタル、音楽祭等様々な演奏会に出演。門下生から多数のコンクール入賞者を輩出し、シヨパン国際ピアノコンクールin Asia、ピティナ等より優秀指導者賞、幼児指導者賞を授与される。ピティナピアノコンペティション、日本クラシック音楽コンクール、予選、本選、全国大会審査員。全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)正会員。合唱指導として参加した合唱団は『東京国際合唱コンクール』A1、A2部門金賞、『東京春のコーラスコンテスト』ジュニアの部で金賞を受賞。



クール・プリエール (合唱)

Choeur Prière

1973年、東大柏葉会OBを中心に10数人で発足。初期の指揮者は栗山文昭。合唱団O.M.P.の構成メンバーとして、1978年、1980年、全日本合唱コンクール全国大会にて金賞。1982年に黒岩英臣を常任指揮者に迎え、翌年、アンサンブル・ミニョン(女声)と合併、新生クール・プリエールとして再スタートした。主としてルネッサンス期の宗教曲、世俗曲、ロマン派、近現代に至るヨーロッパのア・カペラ合唱曲をレパートリーに、繊細なアンサンブルを目指す。1982年都民コンクール第一部門第一位、1983年同招待演奏(黒岩英臣指揮)、1984年〜87年宝塚国際室内合唱コンクール銅賞、TVEC(東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト)1995年一般の部金賞、2000年以降では銀賞2回・銅賞3回入賞。一昨年、創立50周年を期に常任指揮者の黒岩英臣が勇退、後任に齋藤友香理を迎えた。 <https://www.choeurpriere.com/>



近年の定期演奏会での主な演奏曲目(2008年第25回以降)

- 2008年 バッハ「ミサ曲短調」 2009年 ラッス「エレミア哀歌」、ブルックナー「ミサ曲第2番」
 2010年 モンテヴェルディ「愛する女の墓に流す恋人の涙」、ブラームス「5つの歌」、スカルラッティ「悲しみの聖母」
 2011年 ジョスカン・デ・プレ「悲しみの聖母」、ヴィクトリア「8声のアヴェ・マリア」、リスト「主の祈り」、バッハ「モテット第3番」
 2012年 バレストリーナ「悲しみの聖母」、ブーランク「悔悟のための4つのモテット」、フォーレ「レクイエム」
 2013年 バレストリーナ「ソロモンの雅歌」より、デュルフレ「4つのモテット」、バルトーク「4つのスロバキア民謡」、ブラームス「ジプシーの歌」
 2014年 バレストリーナ「サルヴェ・レジーナ」、ブリテン「聖セシリア賛歌」、コダーイ「初聖体拝領」他、バッハ「モテット第1番」
 2015年 タリス「エレミアの哀歌」、イェイロ「ウビ・カリタス」他、シューマン「スペインの愛の歌」より、ブラームス「新・愛の歌」より
 2016年 ヴィクトリア「聖週間の応唱集」より、ブラームス「ドイツ・レクイエム」
 2017年 ヴィクトリア「エレミアの哀歌」より、マクミラン「憐れみ給え」、ブルックナー・モテット集、マルタン「二重合唱のためのミサ」
 2018年 ヴィクトリア「わがハープは悲しみの音に変わり」、ビツェッティ「レクイエム」、モンテヴェルディ「アリアンナの嘆き」、ブラームス「四重唱曲集」作品31、64
 2019年 モラレス/ゲレーロ/ヴィクトリア、ペルト「石膏の壺を持つ女」/デュプラ/ミシュキニス、フォーレ「魔神」ラシースの雅歌」他、ブラームス「哀悼の歌」作品82
 2021年 バレストリーナ/ヴィクトリア、ブラームス「マリアの歌」作品22抜粋、大村博美「フォーレ歌曲集、ブーランク「スターバト・マーテル」抜粋(室内楽伴奏)
 2022年 ラッス「エレミア哀歌」他、ラインベルガー「タベの歌」/シューマン/ベルク/ディストラー、ブラームス「運命の歌」・「愛の歌」抜粋(室内楽伴奏)
 2023年 ヴィクトリア「イエスの優しい思い出」他、コダーイ「聖イシュトヴァン王賛歌」他、ブラームス「ドイツ・レクイエム」作品45(室内楽伴奏編曲:リンケルマン)
 2024年 バレストリーナ「教皇マルチェルスミサ」、プリンスルー「サルヴェ・レジーナ」(日本初演)、ブラームス「5つの歌」作品104、モーツァルト「荘厳晩課」K.339

《チケットお取扱い》

チケットぴあ

Pコード 296744 <https://pia.jp/>

《主催・お問合せ》クール・プリエール

メール info@choeurpriere.com

tel.03-3718-0408

チケットぴあ
販売ページ

会場のご案内

浜離宮朝日ホール

東京・朝日新聞社 新館2階(本館奥)
 中央区築地5丁目3-2 Tel. 03-5541-8710
 都営大江戸線・築地市場駅(A2出口)すぐ
 東京メトロ日比谷線・築地駅(2番出口)・
 東銀座駅(6番出口) 徒歩約8分